

平成26年2月の観光客の動向

【 主要宿泊施設と主要観光施設・ドライブインの動向 】

1 概要

平成26年2月における調査対象ホテル・旅館87施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は、合計251,390人で、前年同月比2.2%減となった。このうち外国人は、16,790人で前年同月比16.7%増となった。

平成26年2月における調査対象観光施設・ドライブイン23施設の入場・来場者数（延べ人員）は、合計407,633人で、前年同月比1.1%減となった。

2月の宿泊客数は、北陸・関西からの宿泊客は増加したものの、大雪の影響で関東や東北からの宿泊客が減少したことなどにより、前年を下回った。

外国人観光客については、韓国からのプロスポーツチームのキャンプやゴルフ客、台湾からの旧正月休暇を利用した観光ツアー客が増加し、12か月連続で前年を大きく上回った。

観光施設・ドライブインの入場・来場者数については、悪天候により屋外施設が落ち込んだことなどから前年を下回った。

2 主な地区別の動向

- (1) 鹿児島地区の宿泊客数は103,302人と、前年同月比1.0%減少した。
- (2) 指宿地区の宿泊客数は46,634人と、前年同月比2.2%増加した。
- (3) 霧島地区の宿泊客数は51,927人と、前年同月比7.4%減少した。
- (4) 北薩地区の宿泊客数は11,212人と、前年同月比4.9%減少した。
- (5) 大隅地区の宿泊客数は9,580人と、前年同月比4.6%減少した。
- (6) 種子島地区の宿泊客数は2,739人と、前年同月比23.9%増加した。
- (7) 屋久島地区の宿泊客数は5,775人と、前年同月比2.3%減少した。
- (8) 奄美地区の宿泊客数は18,330人と、前年同月比3.2%減少した。
- (9) その他地区の宿泊客数は1,891人と、前年同月比11.1%減少した。

宿泊客数を地区別に見ると、鹿児島地区は、関西からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客、教育旅行の団体客が増加したものの、九州からの宿泊客や個人客が減少したことなどにより、前年を下回った。

指宿地区は、北部九州からの宿泊客が減少したものの、関西からの宿泊客や台湾のツアー客、一般団体・企画ツアー客が増加したことなどにより、前年を上回った。

霧島地区は、韓国のゴルフ客や台湾のツアー客が増加したものの、関東・中国・北部九州からの宿泊客や個人・団体客ともに減少したことなどにより、前年を下回った。

北薩地区は、関西・四国からの宿泊客や団体客が増加したものの、関東・九州からの宿泊客や個人客が減少したことなどにより、前年を下回った。

大隅地区は、関東・北部九州からの宿泊客や個人・団体客ともに減少したことなどにより、前年を下回った。

種子島地区は、関東からの宿泊客や個人・団体客ともに増加したことに加え、一部施設でビジネス客の連泊があったことなどから、前年を大きく上回った。

屋久島地区は、関西からの宿泊客や団体客が増加したものの、個人客が減少したことなどから、前年を下回った。

奄美地区は、関東からの宿泊客や一般団体・企画ツアー客が減少したことなどにより、前年を下回った。

その他地区は、中国地方からの宿泊客や大会参加の団体客が減少したことなどにより、前年を大きく下回った。

【「宿泊施設」「観光施設・ドライブイン」全体の動向】

宿泊施設と観光施設・ドライブイン 総合

平成26年2月

(単位:人、%)

	対象施設	宿泊者数 入場・来場者数	前年同月	前年比	参考: 25年前年比 (25/24)
主要宿泊施設	87	251,390	257,067	▲ 2.2	▲ 0.5
主要観光施設 ドライブイン	23	407,633	412,178	▲ 1.1	+4.1

【 主要宿泊施設の宿泊者 】

宿泊客数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成26年2月	前年同月	前年比	参考: 25年前年比 (25/24)
合 計	251,390	257,067	▲ 2.2	▲ 0.5
鹿児島地区	103,302	104,360	▲ 1.0	+1.2
指宿地区	46,634	45,623	+2.2	▲ 4.2
霧島地区	51,927	56,076	▲ 7.4	▲ 1.9
北薩地区	11,212	11,786	▲ 4.9	+0.6
大隅地区	9,580	10,044	▲ 4.6	+9.7
種子島地区	2,739	2,210	+23.9	▲ 14.4
屋久島地区	5,775	5,912	▲ 2.3	▲ 22.8
奄美地区	18,330	18,928	▲ 3.2	+9.5
その他	1,891	2,128	▲ 11.1	+9.3

【 観光施設・ドライブイン 】

入場・来場者数(延べ人数)

(単位:人、%)

	平成26年2月	前年同月	前年比	参考: 25年前年比 (25/24)
合 計	+407,633.0	+412,178.0	▲ 1.1	+4.1
観光施設	+330,635.0	+339,059.0	▲ 2.5	+5.4
ドライブイン	+76,998.0	+73,119.0	+5.3	▲ 0.6

【 発地別宿泊客数の動向 】

1 地域別

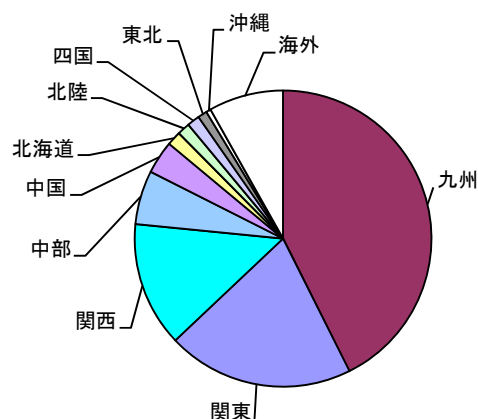
宿泊客数を地域別にみると、九州 87,928 人（構成比 42.6%）が約 4 割を占め最も多く、次いで関東 41,925 人（同 20.3%）、関西 28,111 人（同 13.6%）の順となっている。

地域別宿泊客数（延べ人数）

（単位：人、%）

	平成26年2月（構成比）	前年同月	前年比
合計	206,312（100.0）	211,476	▲ 2.4
北海道	3,175（1.5）	2,413	+31.6
東北	2,060（1.0）	2,619	▲ 21.3
関東	41,925（20.3）	43,986	▲ 4.7
北陸	2,833（1.4）	1,925	+47.2
中部	12,148（5.9）	11,900	+2.1
関西	28,111（13.6）	25,437	+10.5
中国	7,449（3.6）	9,525	▲ 21.8
四国	2,822（1.4）	3,177	▲ 11.2
九州	87,928（42.6）	94,990	▲ 7.4
沖縄	1,071（0.5）	1,111	▲ 3.6
海外	16,790（8.1）	14,393	+16.7

地域別宿泊客数



注：地域別回答があった先の集計のため、宿泊数全体とは一致しない

2 九州県別内訳

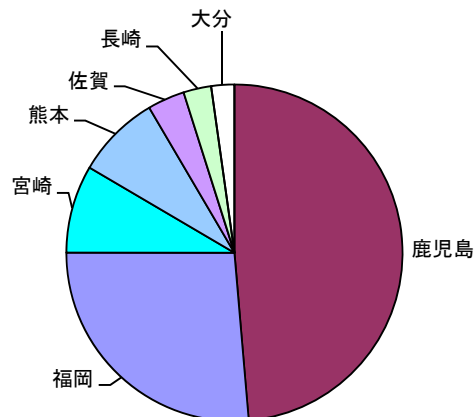
九州からの宿泊客数を県別にみると、県内 42,771 人（構成比 48.6%）が最も多く、次いで福岡 23,191 人（同 26.4%）、宮崎 7,411 人（同 8.4%）が続いている。

九州県別内訳

（単位：人、%）

	平成26年2月（構成比）	前年同月	前年比
合計	87,928（100.0）	94,990	▲ 7.4
福岡	23,191（26.4）	26,899	▲ 13.8
佐賀	3,139（3.6）	3,420	▲ 8.2
長崎	2,353（2.7）	3,507	▲ 32.9
熊本	7,112（8.1）	7,754	▲ 8.3
大分	1,951（2.2）	2,456	▲ 20.6
宮崎	7,411（8.4）	8,604	▲ 13.9
鹿児島	42,771（48.6）	42,350	+1.0

九州県別内訳



3 国・地域別内訳

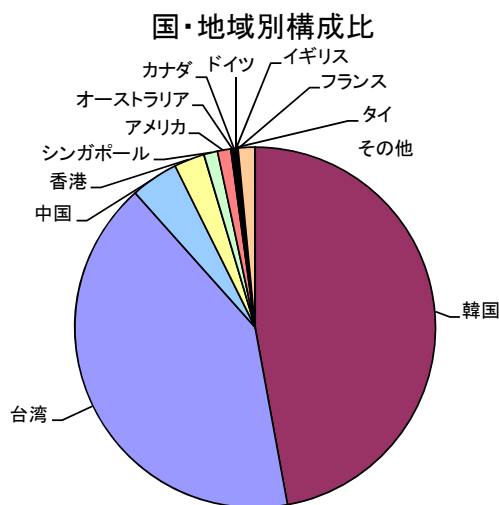
海外からの宿泊客のうち、アジア地域別にみると、韓国 7,862 人（構成比 47.1%）が最も多く、台湾 6,886 人（同 41.3%）、中国 712 人（同 4.3%）、香港 457 人（同 2.7%）、シンガポール 205 人（同 1.2%）などの順となっている。韓国は鹿児島—ソウル線の毎日運航、台湾は鹿児島—台北線により観光ツアー客が増加し、前年を上回った。

また、アジア以外の地域は、アメリカ 199 人（同 1.2%）、オーストラリア 29 人（同 0.2%）、カナダ 26 人（同 0.2%）などとなった。

国・地域別内訳

（単位：人、%）

	平成26年2月（構成比）	前年同月	前年比
合計	16,682（100.0）	14,373	+16.1
韓国	7,862（47.1）	7,459	+5.4
台湾	6,886（41.3）	4,928	+39.7
中国	712（4.3）	781	▲ 8.8
香港	457（2.7）	306	+49.3
シンガポール	205（1.2）	195	+5.1
アメリカ	199（1.2）	290	▲ 31.4
オーストラリア	29（0.2）	17	+70.6
カナダ	26（0.2）	30	▲ 13.3
ドイツ	23（0.1）	11	+109.1
イギリス	15（0.1）	5	+200.0
フランス	9（0.1）	17	▲ 47.1
タイ	7（0.0）	10	▲ 30.0
その他	252（1.5）	324	▲ 22.2



【形態別宿泊客数の動向】

宿泊客を形態別にみると、個人客（含む家族・小グループ）が 148,295 人（構成比 71.1%）、団体客（15名以上）は 60,366 人（同 28.9%）となった。

形態別宿泊客数

（単位：人、%）

	平成26年2月（構成比）	前年同月	前年比
合計	208,661（100.0）	214,030	▲ 2.5
個人客（含む家族・小グループ）	148,295（71.1）	153,273	▲ 3.2
団体客（15名以上）	60,366（28.9）	60,757	▲ 0.6
内			
団体小計	60,366（100.0）	60,757	▲ 0.6
一般団体・企画商品	54,861（90.9）	54,415	+0.8
大会	2,219（3.7）	4,812	▲ 53.9
教育旅行	3,286（5.4）	1,530	+114.8

注：回答のあった先のみを集計のため、全体合計とは一致しない

【 宿泊単価・売上金額・購入単価の動向 】

1 宿泊単価

宿泊単価のうち、客室単価は、前年同月と比較して「高い」と答えた施設は 14.1%、「前年並み」と答えた施設は 64.1%、「低い」と答えた施設は 21.8%となった。

付帯消費額については、前年同月比で「高い」は 8.1%、「前年並み」が 73.0%、「低い」が 18.9%となった。

	客室単価	付帯消費額
合 計	100.0	100.0
高 い	14.1	8.1
前年並み	64.1	73.0
低 い	21.8	18.9

2 売店の売上金額・購入単価

観光施設・ドライブインの売店の売上金額については、前年同月と比較して「増加」と答えた施設は 11.1%、「前年並み」は 22.2%、「減少」は 66.7%となった。

また、1人当たりの購入単価については、前年同月比で「増加」と答えた施設は 33.3%、「前年並み」は 50.0%、「減少」は 16.7%となった。

	売上金額	購入単価
合 計	100.0	100.0
増 加	11.1	33.3
前年並み	22.2	50.0
減 少	66.7	16.7

調査の概要

本県の最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、観光関係者のビジネスや効果的な事業展開などにも広く活用していただくため、県内主要宿泊施設、観光施設等への宿泊・入り込み状況について、アンケート調査を実施いたしました。

・調査期間 平成 26 年 2 月 1 日～2 月 28 日

・調査項目

ホテル・旅館	<ul style="list-style-type: none"> ① ホテル・旅館の全宿泊者数（延べ人数） ② 方面別宿泊者数（国内地域、海外） ③ 海外宿泊者数（国・地域別内訳） ④ 宿泊単価（客室単価、付帯消費額） 対前年比「高い」、「昨年並み」、「低い」から選択
観光施設・ ドライブイン	<ul style="list-style-type: none"> ① 入場者来場者数 ② 売店売上金額（対前年比「増加」、「昨年並み」、「減少」から選択） ③ 一人当たり購入金額（対前年比「上昇」、「昨年並み」、「下落」から選択）

・調査対象

(1) ホテル・旅館	87 施設	鹿児島地区	22
		指宿地区	10
		霧島地区	14
		種子島地区	5
		屋久島地区	5
		奄美地区	9
		大隅地区	9
		北薩地区	8
		その他地区	5
(2) 観光施設	18 施設		
(3) ドライブイン	5 施設		